

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2372201109		
法人名	株式会社サンケイ		
事業所名	グループホームチアフル音明かり詩明かり(音明かり)		
所在地	愛知県一宮市北方町曾根字村裏西46-1		
自己評価作成日	平成26年 9 月 10 日	評価結果市町村受理日	平成27年2月17日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/23/index.php?action_kouhyou_detail_2014_022_kani=true&JigyosyoCd=2372201109-00&PrefCd=23&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人『サークル・福寿草』
所在地	愛知県名古屋市中熱田区三本松町13番19号
聞き取り調査日	平成27年2月14日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「生きているってすてき!」と思えるうち作りがわがグループホームの願い。利用者本人の尊厳を守り、

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	①ユニットに理念を掲げ、理念に沿ったケアに努めている。・毎朝理念を読み上げる。 ②事業理念を一つの基本にし日々の活動を行っている。 ③理念をユニットに掲げ、日頃から理念に沿って利用者が楽しく生きがいを持って過ごして頂ける様心掛けている。 ④フロア内に理念を掲げ、それを元に楽しく過ごせる様に努力している。 ⑤理念の意味を研修で学び日々の活動支援での報告で共有実践に繋げている。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	①地域で行われている消防訓練・文化祭・お祭りなどに参加し、交流を図っている。 ②日々の活動において近隣の方との接点を通し、利用者の位置付けを図っている。 ③地域での行事(消防訓練・赤十字・祭り等)積極的に参加している。 ④⑤夏祭り・運動会・児童館の行事等、地域の方々と交流を持つようにしている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	①③④夏祭り・運動会等招待し地域の方に認知症への理解を行っている。 ②地域推進会議や家族会にて日頃の活動の様子を伝えている ⑤七夕・クリスマス会等、地域の子供たちとの交流を通じ認知症の人への関わり方知らせている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	①②年6回、月に1度開催する運営推進会議では、市役所職員・民生員・町内会・老人会・利用者の家族が出席して頂き、活動状況や現状報告を行っている。 ③⑤リーダーが会議に参加し、報告意見の交換をし話合われたことを申し送られ、向上する様見直しを行っている。 ④運営推進会議では町内会の方の出席を依頼等し、意見を活かした取り組みを行っているとおもわれる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	①④関わっていないので分からない。 ②③事業が連携をとっており職員は報告を受けている。 ⑤市町村担当者ととの連絡面談を定期的に行なわれており、協力頂きケアサービスを積極的に伝え取り組んでいる。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	①②どんな事があっても身体拘束は行わないと言う姿勢を全職員が持っており、日々の業務に活かしている。 ③拘束しないケアを心掛けているが、直面した場合は緊急ミーティングを開き、身体拘束の是非について十分話し合いを進め家族の同意を得て行うことにしている。 ④勉強会において身体拘束しないケアについて説明があり、それを実践している。 ⑤施錠をしなくても自主的に外へ出て行かれないため、施錠も必要とされない。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	①③④⑤勉強会や研修において、虐待の説明を受けその様なことがない様にしている。 ②事業所職員すべての者が、利用者の不安にならない様に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	①④⑤研修で理解を深め必要な支援が受けられるようにしている。話し合い活用している。 ②必要な利用者や活用したい利用者が、いつでも良い様に制度の理解をできる様に努めたい。 ③実際使っている利用者がいたので学ぶ機会があった。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	①家族には契約の時点で、しっかりと話し合い説明等行っている。 ②③④⑤事業所が関わっている。十分な説明を行っていると言報告を受けている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	①②③⑤家族会や面会時に意見や要望を聞くように努めている。意見箱を置き家族の意見を吸い上げる努力をしている。 ④家族からの意見に関しては、上司に相談報告を行い、事業所の方針を知らせたり、家族からの意見として事業所への提案を話している。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	①毎朝の申し送りに管理者も出席し、意見や提案を聞いてもらっている。 ②定例ミーティングで意見を出し合い、リーダーがリーダーミーティングで発表し、事業所全体で話し合っている。 ③④⑤意見はミーティングを通じリーダーに伝えている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	①③⑤年に一度面談があり、希望休や就業時間等出来る限り優遇されている。向上心を持って働ける職場になっている。 ②共在・協調など環境のずれがない様に図っている。④体調や子供の行事等、休める環境を作っている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	①②③④⑤レベルに合わせた内部研修や、受けたい外部研修へ参加できる機会を頂いている。個人指導や実践トレーニングを受けている。外部からの研修生の訪問等からも学び得られる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	①③研修に参加した際、情報交換しサービスの向上に取り組んでいる。 ②外部での発評会や、倫理会などの案内状にて各職員此処に参加出来る様に努めている。 ④自分が休日に多く、参加できていない。 ⑤同業者・研修訪問等で相互に学び、サービス向上に心掛け行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	①②⑤関わりの中で傾聴行い不安を取り除き、良い関係をつくる努力を行っている。 ③④初期段階では基本情報をもとにリーダーが1対1で対応し、信頼関係を深めケアの方向を見つけ職員に繋げている。内容については報告を受けている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	①③④管理者とリーダーが面談行い、家族と密に報告情報を共有し信頼関係を築いている。入所時家族の不安や要望に耳を傾けている。 ②ご家族の受け渡しに対して情報の収集に努め本人の把握に努めている。 ⑤面会時近況報告行い、要望を聞き入れサービス提供に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	①不明 ③④⑤家族、利用者の様子を観察したり、要望を聞きながら本当に必要としているサービスを見つけ話し合い決めている。 ②要望性に対して答えの明確化を図る様に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	①④人生の先輩であり、尊敬の眼差しで学び支え合う関係を築いている。 ②日々の声掛けにて構築を図っている。 ③⑤日々の生活で出来る能力を奪わず、見守り相談にのって頂いたり悩みを聞き支え合う関係作りに努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	①②利用者にとって家族が一番と言う思いを忘れず支えて行く様に努めている。 ③⑤利用者の気持ちを伝え、ご家族に安心して頂ける様、また話し合い支援出来る関係作りに努めている。 ④ご家族の疑問等には出来るだけ、お答出来る様に努力している。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	①②馴染みの方の面会を大切にしている。 ③⑤外出やドライブには(出来る範囲で)その方の思い出のある場所に行き、満足して頂ける様、支援している。 ④利用者の事を知る事が大切であり、その努力をしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	①②自然と全員参加に行動が出来るユニット。 ③仲よし同士楽しいひと時を過ごして頂ける様、見守ったり、職員が中に入り孤立しない様に支援している。 ④利用者と日常を共に過ごすことで、利用者同士の関係を理解し楽しく過ごせる様に努力をしている。 ⑤レクリエーションや会話の中に入り、より良い関係が持てる様に支援している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	①③携わっていないので分からない。 ②場面状況に応じてアフターフォローに努めている。 ④リーダーが契約を終了した利用者の家族との交流を持っている。 ⑤契約終了後も近況報告等、リーダーを通し報告ありその後の訪問も気兼ねなく来れる環境整えている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	①④利用者の思いを知り、出来る限り実現出来る様にしている。また、利用者の信号を見逃さない様に努めている。 ②生活意欲向上に繋がる様に努力している。 ③⑤利用者の気持ちを受け止め、情報交換・資料・会話の中で、それぞれ利用者に合う様努め検討行う。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	①②④情報ファイルや家族からの話、他職員の申し送り等で把握に努めている。 ③入所前の面談やアセスメントシートで把握し、望む生活の把握に努めている。 ⑤先輩からのアドバイスや資料・本人との会話等で把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	①センター方式のアセスメントシートをもとに今できていることや興味を示す事柄から現状の把握に努めている。 ②前日の流れに対しての対応力や、生活向上力を測定する様に努力している。 ③⑤日々の生活を観察し見守りながら、その人らしい生活が送れる様努力し、また出来ている事を維持する ④記録を活用し申し送り徹底している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	①③④⑤毎月のミーティング時、日々の申し送り、家族の要望、取り組みの結果など一人一人の状態を話し合い介護計画を作成している。 ②担当者の意見を聞きながら、リーダーが取りまとめ他職員のケア状況や気づきを話し合い介護計画に盛り込んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	①日勤・夜勤と一日の流れに沿って経過を細かく記入し、対応も記録に残している。 ②③明確に記録に残し問題点は話し合い介護計画の見直しに活かしている。 ④申し送りノートの活用等で情報を共有している。 ⑤職員間での情報や案を共有し、日々のケアを実践結果を見つめ直しケアプランに繋げている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	①④⑤その人に合ったケアに努めている。 ②個人に対し何がベストなのか、総合判断が出来る様に努めている。 ③状態に応じて同系列の施設を利用出来る様に説明が出来る様になっている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	①③④習字・コーラス・手芸・大正琴といった地域のボランティアの協力を頂き、楽しく過ごされている。 ②事業所全体の地域利用幅の内容を確認し、問題がない様に努めている。 ⑤地域資源の意味が分かりません。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	①②医師の往診等、其の都度適切な医療が受けられる様に支援している。 ③④ホームDrはあるが、ご家族の希望があるときは連絡をとりながら医療を受けられる様にしている。 ⑤リーダーに報告を密に行い、適切な医療を受けられる様に支援を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	①変化に気付いた事を、いつでも看護師に相談出来る様になっている。 ②瞬時に関連体制の強化を図っている。 ③現状を詳しく報告し、指示を仰ぎ対応している。常に連携を取っている。 ④看護の日を設け定期的に利用者の状態を把握。 ⑤日常の関わりの中での体調変化を、リーダーに報告リーダーから看護師に伝えられ適切に行えている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	①②④自分は携わっていないが、リーダー、管理者が行っている。 ③⑤リーダー、看護師、管理者が医療相談員を通じて病院と情報交換行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	①②④ご家族、主治医との話し合いの場が持たれ、方針を共有し支援に取り組んでいる。 ③管理者、リーダーがご家族と話し合い職員に申し送られる。チーム一つになりケアに取り組む。 ⑤事業所、チームで出来る事は十分説明説明し、支援している。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	①②急変時や事故発生時、マニュアルを見て勉強している。また、定期研修等に参加し、発生時に的確な対応が出来る様努力してる。 ③④年一度は勉強会に取り入れる。日頃から職員同士緊急対応の練習も行っている。 ⑤実際の経験も有り援助で適切に行えたと思える。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	①③④三か月に1回の防災訓練実施、全職員が的確な行動で利用者が安全に避難出来る様に心掛けている。 ②場面に遭遇した時、瞬時に判断出来る様にしている ⑤日頃より会話のなかに聞き入れている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	①本人のプライドを傷つけない様に気を付けている。 ②どのような場面に対しても理想の声掛けを行っている。 ③尊厳を大切にす様心掛けている。 ④言葉使い言葉かけの内容には常に注意をしている。 ⑤人格尊重、プライバシー保護対応できている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	①出来る限り、自己決定出来る様支援している。 ②③ご本人に合わせ強制せず、意志を表せる様声掛けしている。 ④利用者の希望に沿った日常活動ができるようにしている。自己決定も大切にしている。 ⑤分からない。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	①1人1人のペースに合わせ、希望に沿う様に気を付けている。 ②日々の流れは利用者中心の思いで動いている。 ③④そのらしさを大切に生きがいを持って生活が送れるように見守り支援している。思いを伺い会話から見つけている。 ⑤出来る限る優先し、利用者のペースに合わせている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	①④その人らしい見だしなみや、おしゃれが出来る様に支援している。 ③洋服はご自分で選んで頂く。分からない様であれば助言する。移動美容室2ヶ月に一度訪問あり。 ②⑤声掛け、介助等支援行う。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	①②その方の残存機能を活かして共に取り組んでいる。 ③役割を作り、楽しく行って頂ける様に支援する。 ④細かく切る、彩りを良くする等の工夫をしている。 ⑤会話や好み役割等、見守り一緒に行っている。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	①③毎日、食事・水分の摂取量をチェックしている。栄養のバランス(BMI)食事制限で体調管理を行っている。 ④⑤食事摂取については、細かく記録に残し職員間での申し送りでも確認している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	①⑤声掛け介助にて行っている。 ②声掛けにて実施、案内をして清潔保たれている。 ③毎食後の歯磨きは徹底している。 ④食後1人1人に合わせた口腔ケア実施、確認している。義歯のポリドント使用、一緒に行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	①②③排泄チェックをつけ、パターンを把握し快適に過ごして頂ける様、声掛け誘導を行っている。 ④⑤個々の排泄のパターンを把握できる様観察し、声掛けからの自立支援を行っている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	①④水分摂取や運動を毎日行うことにより、便秘の予防を行っている。 ②体質的な問題が出ない様に飲食には気を付けている。 ③通じに良い野菜を取り入れたり、水分を多めに取り入れたり運動による自然排便を心掛けている。 ⑤排便記録から便秘に気付くようにしている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	①④ユニット事に入浴の曜日は決まっているが、汚染したり希望があればいつでも入浴可能と言う体制で支援行っている。 ②③⑤仲良し同士で入ったり、1人でゆったりと入ったり個々に合わせている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	①睡眠前に不安な気持ちにならない様傾聴し、安心して眠れるようにしている。 ②利用者の状況の中で、判断おこなっている。 ③④自室で休まれる方、ソファで休まれる方、本人の意志に任せ休んで頂いている。 ⑤日中の傾眠を少なく、活動支援行い寝具等の整備を行い安眠に心掛けている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	①③薬剤情報には必ず目を通す。変化が見られた際は、看護師に報告指示を受ける。 ②個人ごとに変化がありがちな為、薬剤の変化には十分気を付けている。 ④理解できる様努力している。 ⑤服薬変更時、服薬情報、申し送り等で、注意深く観察を行う様に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	①④やりがいのある役割を見つけ出し、それを実践出来る様に支援している。 ②団体生活の楽しみや、個人の楽しみの違いを明確に判断し対応出来る様に努めている。 ③個々に合わせ趣味や特技を活かし、活動出来る様に支援している。 ⑤レクリエーションや楽しみ事を日々の生活よりヒントを得て役割や楽しみの支援行っている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	①②④声掛け1人1人の希望を取り入れ、出掛けられる様にしている。外食・遠足等実施、できている。 ③個々に外出したり、ご家族の協力を得て外出している。本人の希望に沿える様に努めている。 ⑤買い物・散歩で地域の人々の協力を得られ行えている。家族との外出準備等で支援している。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	①②金銭管理できている方には、買い物に出掛けた時に使えるように支援している。 ③お金の管理は職員だが、希望があれば買い物に同行し、自由に購入してもらっている。 ④⑤1人1人の使う喜びを支援、買い物時財布等無くさない様注意行い、自由に購入している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	①電話や手紙の機会は少ないが、希望があれば出来る環境になっている。 ②支援対応は少ないが、状況に応じて電話を掛けたり手紙を出したりしている。 ③④本人の要望があれば、手紙を書き一緒にポストへ出しに行っている。 ⑤リーダーが対応している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	①季節に合わせた壁紙を全員で作成し、掲示する等工夫している。 ②⑤清潔感の注意を払い、居心地良い空間を作っている。 ③④季節を感じられる様、共有スペースに飾り付けを行っている。中央にはゆったりとくつろげるソファが置いてある。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	①②④利用者同士の関係を把握し、全員が楽しく過ごせる様に支援している。 ③ウッドデッキがあり、お茶ができる様になっている。気分転換できている。 ⑤席などの配慮等工夫を行っている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮	12/13		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
		居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ①掃除・空気の入れ替えや布団干しを行っている。 ②家族の意見を重要視している。 ③馴染みの物が置いてあり、ゆったりと安心できる空間を作っている。 ④⑤居心地の良い家具の配置等行っている。 		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<ul style="list-style-type: none"> ①自立した生活を送れるように工夫している。 ②⑤工夫していると同時に、分からない場所は案内している。 ③④廊下・風呂場・トイレに手すりが付けてあり、玄関はスロープになっている。表示等、できるだけ工夫している。 	/	/